



日南智之コンサート

も参加している。今回のコンサートも京都府向日市のギタークラブ「ソレイユ」の賛助出演を得て、積み重ねた練習成果を競い合った。また、ゲスト演奏としては、クラブ代表の山岡陽子が師事している永田参男とマンダリンの柴田高明を迎えた。出演者は以下の通り。

【合奏】高槻ギタークラブ／サンタ・ルチア（ナポリ民謡）、グリーンスリーヴス（イングランド民謡）、イエスタデイ（レノン＆マッカートニー）、セレナーデ（シューベルト）、アリオソ BWV992（バッハ）、カノン（パッヘルベル）、ギタークラブ「ソレイユ」／「四季」より春、冬（ヴィヴァルディ）、スペイン風セレナーデ（マラッツ）、【重奏】今井順子、近澤美紗、竹澤永子／バラライカ、DRIZZLE〔霧雨〕（モントレイユ）、濱知武、石川正光、溝端 敏／涙そうそう（BIGIN）、クシコス・ポスト（ネッケ）、谷越俊章、山岡陽子／オリエンタル（グラナドス）、今井順子、田代重治／追憶

（ハムリッシュ）、横山賢一、長谷川達雄／二人の天使（ブルー）、谷越俊章、間石成人／フーガ BWV578 小フーガ（バッハ）、【ゲスト演奏（二重奏）】永田参男（G）、柴田高明（Mand）／愛のロマンス（作者不詳～藤井敬吾）、「タンゴの歴史」よりカフェ、ナイトクラブ（ピアソラ）、マンダリンとギターのためのラブソディ（藤井敬吾）、【合奏】高槻ギタークラブ／ラ・クンパルシータ（ロドリゲス）、エスパーニャ・カーニ（マルキーナ）、カルメン第1組曲より闘牛士（ビゼー）、高槻ギタークラブ&ギタークラブ「ソレイユ」／星に願いを（ハーライン）、ある愛の詩（レイ～永田参男）、ドレミのうた（ロジャース）。（平田健二）

◆日南智之コンサート

10月29日、大阪市城東区関目のブラウニーにて、日南智之が永遠のスクリーンテーマと題し、映画音楽のみを集めたコンサートを行なった。

今回はスペシャルゲストとして関西ジャズ界の重鎮でもあるトランペットの宮岡信夫、さらに過去数回にわたる日南とのセッションでも好評を得ているカホンの大草良生、2名を迎えた。日南のギターソロで始まり、〈The Sound of Music〉（ロジャース）、〈ひまわり〉（マンシーニ）、〈慕情〉（フェン）を演奏。〈11月のある日〉（ブローウェル）は映画のシナリオを解説をした上での演奏だった。ギターのオリジナル曲でよく演奏されるため知名度の高い曲だが、映画のシナリオは実はあまり知られていない。この映画の細やかなシナリオ解説を行なっ

たのはあまり他に例を見ないだろう。さらに〈愛の讃歌〉（モノー）と続き、ここで宮岡と大草を迎え、〈旅愁〉（平尾昌明）が演奏された。ちなみに宮岡は必殺仕事人のテーマを初代から演奏している。ここからは全員でのセッションとなり、映画『いそしぎ』より〈The shadow of your smile〉（マンデル）、『ゴッドファーザー』より〈Speaa Softly Love〉（ロータ）で第1部を終えた。第2部は日南のソロで、〈戦場のメリークリスマス〉（坂本龍一）、〈愛のロマンス〉、〈第三の男〉（カラス）、〈カヴァティーナ〉（マイヤース）、〈太陽がいっぱい〉（ロータ）、そして2人を交えて〈鉄道員〉（ルスティケリ）、〈オルフェの唄〉（ボンファ）、『風と共に去りぬ』より〈タラのテーマ〉（スタイナー）を演奏。宮岡はトランペットとサクスを場面にに応じて持ち替えながらの演奏だった。アンコールは、ソロで〈男と女〉（レイ）、そしてカホンと〈So in Love〉（ポーター）を演奏。

日南はこの日のため、〈ひまわり〉〈愛の讃歌〉〈太陽がいっぱい〉〈男と女〉の4曲を新たに編曲しライブに臨んだようだが、どの曲も叙情的に映画の一場面を表現し、なおかつさりげなくテクニックが散りばめられた編曲となっており、オーディエンスを唸らせた。演奏や表現力もさることながら、他では聴くことのできないアレンジも日南のコンサートの魅力であり客席を満席にする要素の一つと言えるだろう。今後も日南の進化に注目したい。（塩野有紀）



高槻ギタークラブ5周年記念コンサート